

## 今後の協議会の進め方について

---

トラック輸送における取引環境・  
労働時間改善千葉県協議会 事務局

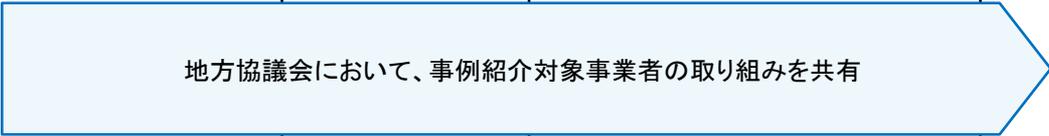
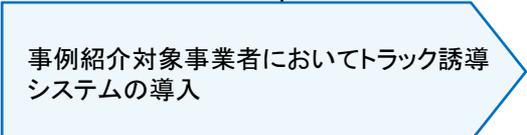
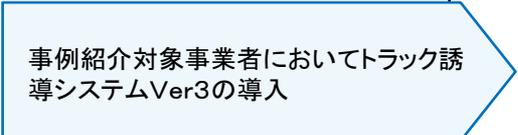
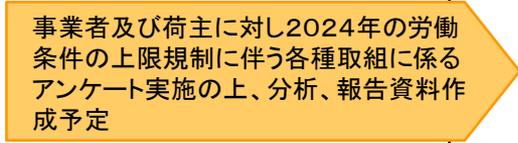
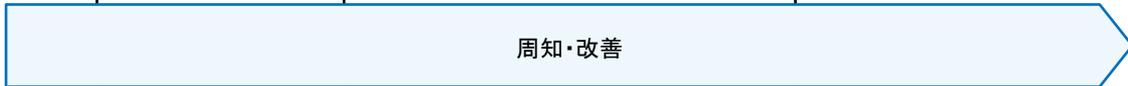
# 今後の協議会の進め方について(前回時点)

地方協議会名:千葉県協議会

トラックの荷待ち時間短縮を図るための取り組み(好事例紹介)

【概要】

事業者の行う待機時間短縮に関する取り組みを好事例として協議会において紹介することにより、待機時間の短縮に向けた意識の共有を図る。

2021年度	2022年度	2023年度	2024～年度	KPI	備考
				・事例紹介対象事業者における待機時間を2024年度までに1時間に改善  ・「標準的な運賃制度」の更なる周知・浸透を図る(R5.1月末現在29%)	・目標値の65%達成(R5.8月末) (目標:131分短縮、達成:86分短縮) ※当初目標値(60分短縮)は達成済み  ・(R5.11月末現在30.8%)
					
					
					

## 令和4年度千葉地方協議会重点取組事項PDCAシート

### ○トラックの荷待ち時間短縮を図るための取り組み(好事例紹介)

#### ○重点取組事項概要

当県においては、加工食品の待機時間が全国平均と比して高い傾向にある。事業者団体と連携し、待機時間短縮に取り組む事業者を選出。取り組みを好事例として協議会において紹介することにより、待機時間の短縮に向けた意識の共有を図る。  
また、引き続き県内の荷主企業を含めた物流事業者に対し、ガイドラインの取り組み、公示運賃、ホワイト物流のさらなる浸透を図る。

#### ○KPI

[1]事例紹介対象事業者におけるトラック誘導システム導入後の待機時間  
システム導入前(2019年4月～2019年7月)平均待機時間3時間11分を2024年度までに1時間の短縮を目指す。(2時間11分未満)

#### ○重点取組事項の取組状況

加工食品の輸送を行う事業者であって、トラックの荷待ち時間短縮を図るための取り組みを実施している事業者よりヒアリングを行い、第12回千葉県協議会において好事例として紹介。

##### 【事業者取組概要】

- ・2019年、トラック誘導システム(Ver1)の開発・導入。
  - 倉庫各所にモニターを設置し、各倉庫に対しWEB画面にて状況を共有。
  - 倉庫内におけるドライバーの位置及び作業の進捗状況を可視化。
  - WEB画面上から出荷の優先順を指定することで出荷の順番を明確化。
- ・システム導入と並行して、フォークリフトの作業動線の見直し、ドライバーノー検品などの運用変更を実施。
- ・2020年、Ver2を導入。より分かりやすい画面レイアウトに改修。
- ・2021年、Ver2.5を導入。スマホ専用アプリを開発しドライバーに配布。社内携帯やビーコンを用い、よりリアルタイムにトラックの現在地を把握・共有することで、現在値に合わせた情報提供を可能とした。
- ・2022年、庫内作業の見える化、出荷優先指示の明確化、タブレットによるペーパーレス化を図り、更なるトラック誘導システムのブラッシュアップを行った。

##### 【KPIの達成状況】

[1]事例紹介対象事業者におけるトラック誘導システム導入後の待機時間

2019年度:2時間42分(29分短縮)

2020年度:2時間24分(47分短縮)

2021年度:2時間09分(62分短縮) → KPIの1時間短縮の目標を達成。(翌年度以降も継続)

2022年度:2時間07分(64分短縮) → KPIの目標を継続達成するとともに、ペーパーレスによるコスト削減

#### ○課題及び今後の対応の方向性

- ・これまでの取り組みを踏まえ、令和6年度からの労働時間の上限規制を目前に各事業者の取り組み状況などを調査分析し、各取り組みを横展開することにより、サプライチェーン全体での待機時間短縮を図る。
- ・ホワイト物流、公示運賃等のさらなる周知、浸透。(継続)

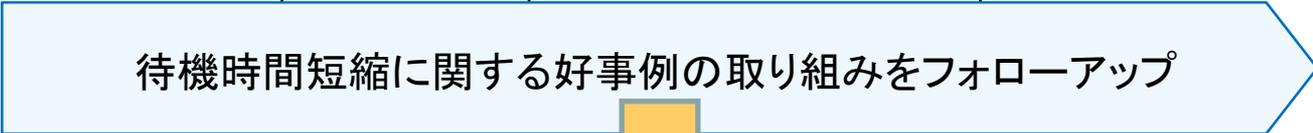
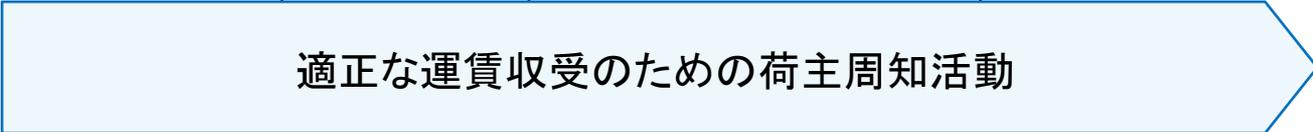
# 今後の協議会の進め方について(案)

地方協議会名:千葉県協議会

トラックの荷待ち時間短縮を図るための取り組み(好事例紹介)

【概要】

- ・事業者の行う待機時間短縮に関する好事例の取り組みをフォローアップし、その状況を協議会において紹介することにより、待機時間の短縮に向けた意識の共有を図る。
- ・標準的な運賃について改定が予定されているところ、改定後の標準的な運賃の周知・浸透を図り、継続的に届出状況の把握・共有を行う。

2024年度	2025年度	2026年度	2027～年度	KPI	備考
				・事例紹介対象事業者における待機時間を1時間以内に改善  ・「標準的な運賃制度」及び改定後の標準的な運賃について更なる周知・浸透を図る	・必要に応じて適宜見直し
 					
					

## 令和5年度千葉地方協議会重点取組事項PDCAシート

### ○トラックの荷待ち時間短縮を図るための取り組み(好事例紹介)

#### ○重点取組事項概要

当県においては、加工食品の待機時間が全国平均と比して高い傾向にある。事業者団体と連携し、待機時間短縮に取り組む事業者を選出。取り組みを好事例として協議会において紹介することにより、待機時間の短縮に向けた意識の共有を図る。  
また、引き続き県内の荷主企業を含めた物流事業者に対し、ガイドラインの取り組み、公示運賃、ホワイト物流のさらなる浸透を図る。

#### ○KPI

[1]事例紹介対象事業者におけるトラック誘導システム導入後の待機時間  
システム導入前(2019年4月～2019年7月)平均待機時間3時間11分を2024年度までに1時間の短縮を目指す。(2時間11分未満)  
2021年度において当初KPI(60分短縮)を達成したことから、2022年度より131分の短縮へKPIを更新。

#### ○重点取組事項の取組状況

加工食品の輸送を行う事業者であって、トラックの荷待ち時間短縮を図るための取り組みを実施している事業者よりヒアリングを行い、第12回千葉県協議会において好事例として紹介。

##### 【事業者取組概要】

- ・2019年、トラック誘導システム(Ver1)の開発・導入。
  - 倉庫各所にモニターを設置し、各倉庫に対しWEB画面にて状況を共有。
  - 倉庫内におけるドライバーの位置及び作業の進捗状況を可視化。
  - WEB画面上から出荷の優先順を指定することで出荷の順番を明確化。
- ・システム導入と並行して、フォークリフトの作業動線の見直し、ドライバーノー検品などの運用変更を実施。
- ・2020年、Ver2を導入。より分かりやすい画面レイアウトに改修。
- ・2021年、Ver2.5を導入。スマホ専用アプリを開発しドライバーに配布。社内携帯やビーコンを用い、よりリアルタイムにトラックの現在地を把握・共有することで、現在値に合わせた情報提供を可能とした。
- ・2022年、庫内作業の見える化、出荷優先指示の明確化、タブレットによるペーパーレス化を図り、更なるトラック誘導システムのブラッシュアップを行った。
- ・2023年、LT2(リードタイム2日制)を導入。

##### 【KPIの達成状況】

[1]事例紹介対象事業者におけるトラック誘導システム導入後の待機時間

2019年度:2時間42分(29分短縮)

2020年度:2時間24分(47分短縮)

2021年度:2時間09分(62分短縮) → 当初KPIの1時間短縮の目標を達成。(翌年度以降も継続)

2022年度:2時間07分(64分短縮) → 当初KPIの目標を継続達成するとともに、ペーパーレスによるコスト削減

2023年度:1時間45分(86分短縮) → 当初KPIの目標を継続達成。

#### ○課題及び今後の対応の方向性

- ・これまでの取り組みを踏まえ、各事業者の取り組み状況などを調査分析し、各取り組みを横展開することにより、サプライチェーン全体での待機時間短縮を図る。
- ・ホワイト物流、公示運賃等のさらなる周知、浸透。(継続)
- ・標準的な運賃の改定等に関する情報について周知、浸透を図る。